

☆ オランダ

合繊原料

IVL、Rotterdam 工場の PTA 増設を完了

タイの Indorama Ventures Public Co. Ltd. (IVL)は、Rotterdam の PTA プラントを年産 38 万トから 70 万トに増設した。現在、スタートアップ段階で、8 月中旬に商業生産を開始する見込みである。製品はすべて、同工場内の PET 生産用に自家消費される。今回の増設で、これまでの外販調達部分を一貫生産に切り替えることで、コスト競争力が増し、収益性が改善されるとしている。同社はスペインにも PTA 工場を有し、あわせると年産 100 万トを超える能力となる。

IVL によると、欧州の PTA 増設と米国のガスクラッカー稼働は、同社の 2 大プロジェクトとされ、全体の収益と競争力を増大する効果が期待されている。米国プロジェクトに関しては、2015 年 9 月に Louisiana 州 Lake Charles のエチレンクラッカーを買収。年産約 42 万トのエチレンと 2 万トのプロピレンを製造する計画である(海外速報 2017 年 1 月 10 日)。

☆ 中 国

化繊設備

中紡院のリヨセル繊維産業化プロジェクト稼働開始へ

2017 年 7 月 17 日、中国紡織科学院(中紡院)傘下の緑色繊維股份の進めてきた年産 1.5 万トのリヨセル繊維の産業化プロジェクトについて、全ラインの稼働を開始したことを明らかにした。

この中国国内初のリヨセル繊維の設備は、全て国産品であり、中紡院の自主知的財産権を有するラインである。2016 年 12 月 23 日に原料が投入され試生産の稼働に成功した。その後、生産ライン、技術に対して数十回もの改善と最適化を進めた結果、生産管理能力を高め、設備の安定性や製品品質を向上させ、2017 年 3 月、連続安定生産を実現、製品の指標は国内の同類製品を超え、海外同類製品のレベルに達した。現在までの累計生産量は約 1,600 トとなった。

業界関係者は、今回の全ライン稼働の成功は、中国の化繊分野、繊維分野における「グリーン製造」の進展の大きな一歩であり、第十三次五カ年計画の発展が計画通りの方向に向かっていることが明らかとなり、産業の発展が確固たるものとなったと評価している。